

スポーツ行政論		講義	講師 菅谷 美沙都	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの選択必修科目 救急救命士コースの教養選択科目	科目ナンバリング	11310201 13220208	

1. 授業のねらい・概要

我が国のスポーツ行政について、国・都道府県・市町村別のスポーツ政策や行政組織を理解すると共に、スポーツ基本法が示す要点を確認し、地域スポーツ振興やオリンピック選手育成にかかる競技力向上、スポーツ施設の整備等について政策的な観点から学ぶ。我が国のスポーツ政策を体系的に理解し、国や地方自治体によるスポーツ政策について具体的な事例を取り上げながら理解を深める。

2. 授業の進め方

スポーツ基本法やスポーツ基本計画、地方自治体のスポーツ推進計画等、実際のスポーツ政策の資料を用いて、条文を解釈する読解力と思考力を高める。

3. 授業計画

1. オリエンテーション（授業の進め方、成績と評価について等）	9. 運動部活動の歴史と政策的展開
2. スポーツ政策とは何か（スポーツの公共性と政策）	10. 地域スポーツの振興：総合型地域スポーツクラブとは何か
3. スポーツ基本法の成立とその特徴	11. 我が国のスポーツ施設と政策
4. スポーツ振興法とスポーツ基本法（比較分析）	12. 地域スポーツ政策の立案①：地域の課題分析
5. スポーツ基本計画の概要と目的	13. 地域スポーツ政策の立案②：具体的な事業の企画
6. 我が国の競技スポーツ振興政策	14. 地域スポーツ政策の立案③：実行のための資源調達
7. 地方自治体のスポーツ振興政策	15. まとめ
8. 国と地方自治体のスポーツ行政組織・スポーツ財政	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前に配布する「スポーツ基本法」や資料を項目別に要点をまとめて授業に臨むと共に、授業時に配布するレジュメや授業ノートを復習しておくこと。これらの自主学修には2時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の直後、解答のポイントや評価の基準に関する説明を行う。レポート提出の際、採点のポイント等を説明する。

6. 授業における学修の到達目標

スポーツ基本法及びスポーツ基本計画が示す要点を理解し、行政が進める「総合型地域スポーツクラブ」や「運動部活動改革」の意義及び内容を理解した上で、自らスポーツに関する課題解決に向けた政策を立案できる論理的思考力・創造力を身につける。

7. 成績評価の方法・基準

リアクションペーパー及び中間レポート（50%）、期末レポート（30%）、授業態度（20%）から総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

教科書は特に指定しない。適宜、資料・プリントを配布する。

9. 受講上の留意事項

特になし。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、スポーツ行政組織における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。